

会 議 の 概 要

会議名	令和 6 年度 第 1 回宝塚市食育推進会議
開催日時	令和 6 年（2024 年）8 月 22 日（木）午後 2 時～午後 3 時 30 分
開催場所	宝塚市役所 4 階 特別会議室
出席委員	佐々木委員、松岡委員、安藤委員、細川委員、岡橋委員、前田委員、 日下委員、日野尾委員、西尾委員、池端委員、関口委員、前田委員、 勝間委員 （13 名）
欠席委員	飯山委員、岡野委員、中西委員、酒井委員 （4 名）
傍聴者数	なし
公開の可否	公開
1 開会 ・ 委嘱状の交付 ・ 各委員の紹介 ・ 会長及び会長職務代理の選出 2 議題 （1）第 3 次たからづか食育推進計画の概要 （2）市で取り組む食育に関する事業 ～令和 5 年度実績及び令和 6 年度計画～ （3）市内公立小学校における食育出前講座について 3 連絡事項 次回、第 2 回宝塚市食育推進会議：令和 7 年 2 月～3 月頃に開催を予定 4 閉会	

会長及び会長職務代理の選出について

（事務局）会長については、宝塚市食育推進会議条例第 5 条で、推進会議に会長を置き、委員の互選により定めると規定しています。互選について、ご意見はありますか。

（委員）事務局から何か提案はありますか。

（事務局）事務局といたしましては、前期の会長、甲子園大学 栄養学部教授 佐々木委員に引き続き会長をお願いしたいと思っています。いかがでしょうか。

（委員）異議なし。

(事務局) ありがとうございます。それでは佐々木委員に会長をお願いしたいと思います。
ご挨拶をお願い致します。

(会 長) この度、食育推進会議の会長になりました佐々木と申します。よろしくお願いいたします。
私にとっては3期目となります。

1期目は、ちょうど新型コロナウイルスの感染拡大防止のために様々な取組が中止になる状況で、またそれに代わる企画もあまりできずに歯がゆい思いをした記憶があります。2期目も最初の頃はまだ少し影響があり、最近になってようやく軌道に乗ってきたように感じます。この後報告がありますが、新たな取組も企画されているようですので、少しずつですが活性化の兆しがあるかと思います。

第3次たからづか食育推進計画に基づき積極的な食育活動を継続的に実施するためにも、宝塚市食育推進会議委員のお力が必要になるかと思います。今回は新たに委員になられた方も多くいらっしゃいますので、その方々も含め、皆様のお知恵をいただきながら、食育を推進できればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局) 職務代理者の選出ですが、宝塚市食育推進会議条例第5条第3項で、「会長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する」と規定しておりますので、佐々木会長からご指名をお願いいたします。

(会 長) 職務代理者の選出ですが宝塚いずみ会の岡橋委員をお願いしたいと思います。

(岡橋委員) よろしく申し上げます。

(会 長) 改めまして、宝塚市食育推進会議の会長となりました佐々木です。よろしくお願いいたします。
初めに会議の成立について事務局から報告をお願いいたします。

(事務局) 事務局より説明

(会 長) それでは次第に沿って会議を進めて参ります。

初めて会議に参加される方もおられますので、まず議題1として「第3次たからづか食育推進計画」の概要について事務局より説明をお願いします。

(事務局) 事務局より説明

(会 長) 何かご質問やご意見等がありますか。

(委 員) 宝塚に住んで30年になりますが、一生懸命に食育を推進していることは知りませんでした。私の周囲の仲間にも、食育の取組についてPRしたいと思います。

住んでいるとあまりわからないと思いますが、市外から来ると宝塚市の素晴らしさを感じます。私もこれから勉強をしながら頑張りますので、よろしくお願いいたします。

(会 長) ありがとうございます。

食育関係課については、必要時にこの会議へ出席いただければ良いと考えています。また事務局へのお願いですが、毎回委員の皆様から貴重なご意見をたくさんいただいておりますので、いただいたご意見をしっかりと各担当課と情報共有し反映できるようにお願いいたします。

次は、議題2、市で取り組む食育に関する事業 令和5年度実績及び令和6年度計画について、事務局より説明をお願いいたします。

(事務局) 事務局より説明

(会 長) ありがとうございます。予算額の計上や小学校での食育啓発事業、食品売り場でののぼりの設置など、前年度に皆様からいただいたご意見がかなり反映されていたように思います。何かご質問やご意見はありますか。

何ものなければ、8月11日の日曜日に文化芸術センターで開催された「たからの市」に協力をされた宝塚栄養士会から感想をお願いします。

(委 員) 毎年、日本栄養士会が決めたテーマに沿った内容で栄養ワンダーを開催しています。今年のテーマは『消化は口から～口からはじまる消化と栄養の物語～』でした。高齢になっても口から食べるためには、口周辺の機能を衰えさせないことが大切であることに関連したパネルを作成し展示を行いました。自身を振り返る気づきになったのではないかと思います。

その他、ペットボトル飲料に含まれる砂糖の量について、スティックシュガーを使って表現し展示をしました。これまで何度も展示をしていますが、知らなかったといわれる方や自分の子どもに砂糖の多さについて説明している姿があり、継続して発信していくことが大切だと感じました。

(会 長) 甲子園大学も「食と地域」という授業の一環で履修している学生4名が魚釣りゲームに参加をしました。小さな子どもに向けて、とても楽しく食育ができたようです。学内での教育だけではなく地域へ出て実際に市民と話をしながら食育をするということの大切さなど様々な気づきがあったようです。卒業後、この経験を生かして頑張ってもらいたいなと思っています。

大学として、今後もこのような活動があれば積極的に参加したいなと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、議題の3 市内公立小学校における食育出前講座について、事務局より説明をお願いいたします。

(事務局) 事務局より説明

(会 長) ありがとうございます。これから実践されるという食育出前講座についてご説明がありました。ご質問やご意見をお願いいたします。

(委 員) 9月中頃に小中学校のPTA会長が集まる理事会があります。そこで出前講座の紹介を行ってもよろしいでしょうか。

(事務局) 小学校からご依頼を受けている立場ですので、小学校に確認し了解がとれましたら連絡をさせていただきます。

(委 員) 対象は小学生ということですが、今後未就学児を対象にする予定はありますか。

(事務局) 今後のことは、今年度実際に開催し、考える予定です。

(委 員) 私には未就学児の子どもがいます。特に行事食は親も忘れてしまうので、このような取組を是非未就学児対象にもご検討頂ければと思います。
実習のレベルを変えればできるのではないかと思います。

(事務局) 前向き検討させていただきます。

(会 長) 他にご意見はありますか。

今年度、実際に出前講座について協力依頼を受けている宝塚栄養士会と宝塚いずみ会から何か意気込みのようなものがありましたらお願いいたします。

(委 員) 「おいしい味噌汁づくり」と「自分で朝食づくり」を担当させていただく予定になっています。「おいしかった」と講座の時だけで終わってしまわないように、これなら家でもできるなと思ってもらえるように、子どもたちに伝えられたらいいなと思っています。

お手伝いからでいいので、家でもやってみようと思えるように、包丁の使い方、ガスコンロの扱い方、熱いお鍋の注意点など、基本的なことをしっかり理解してもらい、怖がらずにやってみようと思ってもらえるような講座ができればと思っています。

(会 長) ありがとうございます。包丁やガスの使い方は、いつごろから覚えればよいのか等、保護者も迷うところがあると思います。このような取組に参加することで、子どもたち自身が理解をして家庭で自ら調理してみようと思い、実践できる機会が増えたらいいなと思います。

宝塚いずみ会も意気込みをお願いいたします。

(委 員) 「おいしいお味噌づくり」と「自分で朝食づくり」「行事食(巻きずし)」の3講座に協力をします。1回だけの講座ですので、「楽しかった」だけで終わるのではなく、少し興味を持ってもらうように、難しいものでなくてもよいので、休みの日には自分が家族に作ってあげられるようになればいいなと思っています。

(委 員) 昔、職場で調理師学校の免許を持っている先輩から、だし巻き卵と焼うどんの作り方を教わりました。家族がいないときには自分で焼きうどんを作ります。火は使いますが包丁はあまり使わずに10分程度で作ることができます。このような料理であれば、低学年は無理かもしれませんが、子どもたちでもできるのではないかと思います。

手打ちそば研究会にいました。30年前にそば打ち場を作ってもらい石臼も持っています。興味のある方は声をかけてください。

母親がつきっきりにならなくても、子どもたちでも簡単にできます。

(会 長) 貴重なご経験をご披露いただきありがとうございます。

子どもたちに対するちょっとした食育活動でも、その後の生活に大きく影響すると思います。今回せっかく小学校での食育啓発事業が実現できましたので、来年度、さらにそれ以降につなげるためにも、関係団体の皆様どうぞよろしくをお願いいたします。

(委 員) 1回だけだから、単発だからという言葉が何度も出てきていますが、今後に向けて、1つのトレーニングコースのようなものにするなど、継続的に小学校と関わっていけるような仕組みづくりが必要ではないかと思います。

現在私が取り組んでいる活動を紹介させていただきます。

教育委員会と直接話をして、昔、宝塚で開発された「宝交早生」という品種の苺を小学校3年生と一緒に育て、それを実際に味わってもらいました。

今年の10月～11月頃には、もう一度この小学生に大学へ来てもらい、次の3年生に食べてもらうための苺を育てるために、一緒に苗植えや追肥をします。
自分たちの作った苺を次の学年に食べてもらい、また次の学年が苺を育てています。各小学校の事情などもあり、すべての小学校でできているわけではありませんが、教育委員会や小学校のニーズに合わせながら、継続する仕組みを作っています。
例えば、どのような内容に人気がありニーズがあるのか、それをどのようにして宝塚の食育として行っていくのか、そのようなところにも視点を向ければ、食育のバトンをつないでいけるのかなと思いました。

(会長) ありがとうございます。

(委員) 整理された取組みだなと感心しています。

私が行った取組について紹介させていただきます

肢体に不自由のある男性には必ず男性のヘルパーさんがつきます。そのため、男性ヘルパーさんが作れるラーメンや焼き飯しか食べることができませんでした。しかし実はその男性には煮物が食べたいというニーズがあることがわかりました。

そこで、肢体に不自由のある男性の声を形にしようと、先日、逆転の発想で自己責任クッキングっていうイベントを行いました。

栄養学を学んでいる学生に、肢体に不自由のある男性の指示通りに動いて肉じゃがが料理を作ってもらいました。コーラなど肉じゃがには入れないような材料も用意し、その中から男性に材料から選んでももらいました。じゃがいもや人参、系こんにゃくの切り方も男性が指示をしました。醤油やみりんなどの量も指示通りに入れてもらいました。携帯電話も使用せず、自分の感覚だけで学生に指示を出しながら作ってもらいました。

でき上がったものは自己責任で食べてもらいました。まずいけれどそれなりに食べることはできたようです。

後で、入れる具材や調味料とその量などの答え合わせを行い、失敗から学ぶというような、面白い取組を行って盛り上がりました。

小学生にも、わざと失敗をしてもらいながら学んでもらうような学習の場があってもいいのかなと思いました。

正しい教え方もあると思いますが、このような方法があってもいいのかなと思い、少し共有をさせていただきました。

(会長) ありがとうございます。面白い取組だと思います。子どもたちも、逆転の発想で行うような食育もあってもいいのかなと思いますし、学びも多いかなと思います。ありがとうございました。

先ほども説明がありましたように、公立小学校での食育出前講座は、今後の取組となりますので、実際にその取組を終えられての新たな気づきや改善点などは、この会議で情報交換をしていただければと思います。実際に講座を受けた子どもたちにアンケート調査を行った結果についても、まとめて報告いただければと思います。

それらを踏まえて次年度以降も様々なアイデアを出しながら食育活動につなげていけたらと思っていますので、委員の皆様どうぞよろしくお願いいたします。

他にご意見がなければ以上になりますがよろしいでしょうか。

本日いただきましたいろいろなご意見につきましては事務局で十分に検討してください。

い。また本日の議事録に関しましては、私が確認させていただきたいと思います。委員の皆様よろしいでしょうか。

（委員）はい

（会長）それでは本日の議題及び報告事項などすべて終了いたしました。ご協力ありがとうございました。事務局へお返しいたします。

次回、令和６年度 第２回宝塚市食育推進会議：令和７年２月～３月頃に開催を予定

令和６年度 第２回食育推進研修会・情報交換会：令和７年１月頃に開催を予定。